

「マスメディアを通して考える日中関係」

大学院 国際研究科2年 劉 禹君
国際学部国際社会学科4年 今 咲乃
国際学部国際社会学科4年 津島 萌
国際学部国際社会学科1年 成田 愛美

●はじめに

この発表では、普段の生活の中、身近なことから日中関係について考えてみたいと思います。

まず、皆さんが今後結婚したとして、ハネムーンはどこに行きたいですか？

●ハネムーン

さて、日中両国のハネムーンの行き先についての調査があります。2006年に中国の大都市の富裕層を対象に行きたいハネムーン先について調査したところ、上海ではフランス、北京ではアメリカ、広州では日本という回答が多く、また2003年、中国大手検索サイトのおすすめハネムーン先として挙げられていた中にもアジアの国々がありますが、パリやギリシャ、ハワイなど欧米の国々が多く見られます。

対して日本は、大手旅行会社のHPによると、日本人に1番人気があるのはハワイで、そこにヨーロッパ各国、アメリカ本土…と続きます。先ほども伺いましたが、ランキング上位を占めるのは欧米の国々ばかりです。

5位以降になるとようやくアジアの国もランクインしますが、それでもモルディブやバリなど、いわゆるリゾート地のようなところばかりです。

ハネムーンとして、中国人は日本に来たいと思っているようですが、日本人で中国に行きたいと思う人はほとんどいないようです。

●世論調査

ここで、中国人・日本人が互いに相手に対してどのように感じているのかという世論調査のデータを見てください。

この紫のグラフが、中国人が日本に対して良くない印象を持っているという意見、この赤いグラフが日本人が中国に対して良くない印象を持っているという意見の推移を表しています。見てわかる通り、年々良くない印象を持っている割合は増えていて、この1年間の印象の変化としては、相手国に対する印象が「悪くなった」と回答する人が、日本人で7割近く、中国人でも6割近く増えています。

互いに良くない印象を持っているようですが、具体的にはどのように思っている

のでしょうか。日中両国をそれぞれ見ていきたいと思います。

●中国の日本のイメージ

まずは、中国から見ていくことにしましょう。中国人が日本に対して良くない印象を持っている理由ですが、魚釣島（^{うおつりしま}釣魚島）とその周辺諸国、日本という尖閣諸島に関する領土問題や、日中戦争などの歴史についての問題がとびぬけて多いようです。

これよりもさらにリアルな日本認識を知るため、中国最大手検索エンジン「BAIDU」で『日本』をキーワードに検索してみました。検索ページはこのようなになります。

トップニュース20のうち、6つは日本の右翼や慰安婦問題など批判的なもので、また安倍内閣の政策に関するニュースも多く見られます。そのほかには、カメラの新製品発売やマンガについてなど、経済・文化分野のものも見られました。

また、中国人の日本人に対するイメージの多くは抗日ドラマによって形成されてきました。これまでは、ここで取り上げた写真に見られるような丸メガネにちょび髭で出っ歯が日本兵として描かれていましたが、最近では日本人のイメージも変わってきたようで、矢野浩二さんをはじめとして、イケメンが日本兵として登場するようになりました。

さらに、中国の経済発展に伴い、多くの中国人が来日しており、日本製の家電などを大量に購入することが日本に来る目的の1つとなっているようです。国土交通省の調査からも、他の国からの旅行者より、中国人旅行者のほうが日本国内で使う金額が多いことがわかります。

品質のいい日本製品は、中国国内での人気も高く、中国人が日本で紙おむつを大量に買い占め、コンテナに詰めて中国に送り、転売するというようなことも問題になっています。それもあって、もしかすると皆さんも目にしたことがあるかもしれませんが、最近ではドラッグストアなどでは紙おむつの購入制限がされていることもあります。

以上のことから、中国から日本を見た場合、戦争責任などの問題に対する不満、抗日ドラマなどに登場する日本兵によって形成された「日本人が憎い」という感情、それでも品質のいい日本製品が好きだという気持ち、こうした思いがあるのではないかと思います。

●日本の中国のイメージ

これらに対して日本から見た中国とはどういったものなのでしょうか。日本人が中国に対して良くない印象を持っている理由として、中国同様、領土問題や歴史問題について挙げられていますが、2014年度の調査で最も多かったのは「国際的なルールと異なる行動をするから」というものでした。しかし、今回の発表では身近なことから中国を考えていきたいと思っているので、「私たちの生活の中でのルール」に

ついてみてもらいたいと思います。

先ほど、日本に来る中国人が増えている、という話をしましたが、その日本に来た中国人のマナーが悪いと問題視されています。

買い物中に、売り物の包装紙を勝手に破いて中身を取り出してしまったり、生鮮食品を素手でベタベタ触ったり。試食コーナーでは、さんざん飲み食いしても何一つ購入せず、そのうえ試食になっていない商品まで食べたいから開けろと言ってくることもあるようです。

また、宿泊先の旅館やホテルでは、このように温泉の入りがなっていなかったり、部屋を汚したり備品を壊したり、時と場所を考えず騒いだりと迷惑をかけることも多く、スタッフや他のお客さんが不快に感じることも頻繁にあるそうです。

2008年のエクスペディア・ジャパンによる観光客の評判についての調査では、1位が日本人で、中国人は31位でした。その理由としても、「部屋を汚す」「行儀が悪い」などが挙げられています。

あまりにも中国人の旅行マナーが悪いと騒がれ、中国側は「国のイメージを損なう」として、2013年に中国で初めての「旅行法」をつくり、中国国家旅行局は旅行中のマナーに関する64ページにもわたるガイドブックを発表しました。しかし内容は「そこらじゅうで痰をはかない」、「行列に割り込まない」、「ホテルの備品を破壊しない」、「飛行機の救命胴衣を持ち帰らない」などと、日本人からすると当たり前と思われるようなことまで書かれています。

また、日本でよく見るニュースとして中国製品に関するものがあります。2007年に発覚した毒入り冷凍餃子事件や、記憶にも新しい、今年話題になったマクドナルドのチキンナゲットに関する問題など食品に関するものが多いかもしれません。近年では、「MADE IN CHINE」の評判が悪いために「MADE IN PRC」と表記を変え始めていることも話題になったりしています。

毒入り冷凍餃子事件のあとに行った調査では、中国製品に対して不安や抵抗感を感じる人が、2005年の調査より、約2倍近く増え、以前よりも中国製品のイメージが悪くなったという人は約75%もいる、という結果が出ています。

テレビでは、このようなシリアスなニュースも目にしますが、夕方の情報番組を見ていると、なぜか穴に落ちたり、壁の間に挟まったり、柵と柵の隙間から頭が抜けなくなったりしている中国人のニュースが取り上げられていることがあります。ここで取り上げた写真は、歩きスマホをしていて前を見ていなかったばかりに、ふたの外れたマンホールに落ちてしまった女性の写真です。

また、バラエティー番組では、中国人のモノマネをする芸人さんが人気だったりします。次長課長の河本さんや中川家の礼二さんのこうしたネタは、多分みなさんも1度くらいは見たことがあるのではないかと思います。

以上のことから、日本から中国をとらえようとすると、中国人はマナーが悪くて

不快、中国製品は怖い、「中国」や「中国人」というのを、エンターテインメントの1つとして楽しんでいる、というようなことが見て取れるのではないのでしょうか。

●経済的相互依存

これまで見てきたように、お互いに良くないイメージを持っている中国と日本ですが、ここで、みなさん自分がいま着ている洋服のタグを見てもらいたいと思います。

日本で流通している衣料品は、みなさんご存知かもしれませんが、安くするために中国製のものが多いです。衣料品だけでなく、さんざん不安だと言っていた食料品も中国産のものは多く、中国は日本にとって最大の貿易国となっています。さらに、以前よりは減ってきているようですが、対中直接投資額も、世界の国々の中で日本がトップですし、中国国内に進出する企業が、1番多いのも日本です。

●いまとこれから

いまは互いに大国としての意識やプライドがあったり、過去の問題に執着していたり、時代は違いますが、自分よりも「格下」だと思っていた国に追い越されたということにいら立っていたりと、様々な問題が絡み合って複雑になってしまっています。

しかし、今後、中国と日本が全くかわりあわないというのは、ほぼ不可能なので、これだけの経済関係があるということ、日中相互依存関係を再認識し、挑発はしない、させない、特に日本のメディアはむやみに煽らない、そして、やはり話し合いの場が必要だと思っています。

●最後に

中国人にとっても日本人にとっても、古典というのは尊ぶべきものだと思いますので、孔子の論語から2つ紹介して終わりたいと思います。

—子曰く、『人の己れを知らざるを患えず、人を知らざるを患う。』

—先生（孔子）がこうおっしゃった。『他人が自分を認めないことは心配いらない、自分が他人を認めないことのほうを心配しなさい。』

—子曰く、『位なきことを患えず、立つ所以を患う。己を知ること莫きを患えず、知るべきことを為すを求む。』

—先生（孔子）がこうおっしゃった。『地位がないことを心配せず、その地位に立つべき理由（実力や人徳）について気にしなさい。自分を認める人がいないのを気にかけず、人に認められるような行動ができるように努力しなさい。』

この発表を聞いて、みなさんの生活の中に、何でもいいので、少しでも日中関係について考える時間ができたなら幸いです。

以下、参考資料を列挙いたします。ご清聴ありがとうございました。

当日発表資料

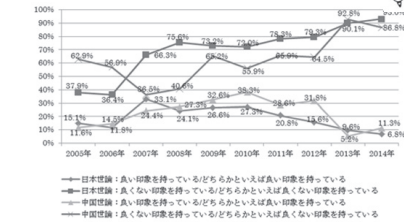


ハネムーンの行き先

- 中国人
 - ・「2006年の美国运通环球网络业务(アメリカエクスプレスグローバルネットワークサービスビジネス)の調査」
 - 上海「フランス」、北京「アメリカ」、広州「日本」
- 日本人
 - ・「大手旅行会社のランキング」
 - 1～4位: アメリカ、ヨーロッパ、ハワイ、イタリア、フランス、スペイン、オーストラリア
 - 5位以降: アジアもランクイン
 - モルディブ、パリ、オーストラリア、タヒチ、カンクン
- ・「2003年11月の中国大手検索サイトのおすすめのハネムーン先」
- パリ、ギリシャ、ハワイ、モルディブ、シンガポール、プーケット、日本、バリ、ニュージーランド、ラスベガス、モリシャス

※旅行会社により順位変動あり
※旅行会社によっては「パリ」が1位

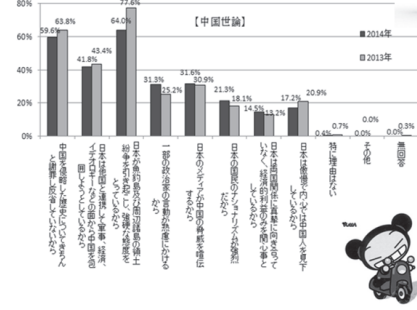
相手国に対する印象



※日本の世論調査: 全国の18歳以上の男女(高校生を除く)を対象に、7月24日から8月10日まで、訪問調査方式により実施。有効回収率71.00%。回答者の最終学歴は、高校卒が45.4%、短大・専修学校が4.7%、大学卒が50.2%、大学院卒が1.6%。

※中国の世論調査: 北京、上海、成都、瀋陽、西安の6都市で18歳以上の男女を対象に、7月1日から7月25日まで、調査員による街頭調査により実施。有効回収率74.1%。都市別の回収率は、上海が最も高く、北京が最も低い。調査対象は、中国の最終学歴は中学校以下が5.6%、高校・職業高校・専門学校が43.1%、大専卒が25.2%、大学卒が15.0%、大学院卒が4.9%。

では、中国はどう考えているでしょうか。



ネットニュースから見る「日本」

- 中国最大検索エンジンBAIDUで2014年10月27日に「日本」をキーワードに検索

トップニュース20の中、6個は日本右翼、慰安婦問題など厳しい批判的なものである。また、安倍内閣の政策に対する関心も高いようにみられる。その他、カメラの新製品発表、漫画など経済、文化分野のものが多い。



抗日ドラマから見る「日本人」像

昔 今

上写真:矢野浩二さん

中国人の「爆買い」

- 日本政府観光局 (JNTO) の統計によると、今年1月から6月までの半年間で100万9200人来日している。
- 国土交通省観光庁のサンプリング調査 (対象は6600人) によると、今年第2四半期 (4-6月) の訪日外国人の1人当たりの旅行支出は平均14万3942円だったのに対し、中国人は21万1784円で、中国人の購買力の旺盛さがみえてとれる。

紙おむつフーム

- MADE IN JAPANに対する信頼
- 紙おむつの大量購入、転売

中国から眺めた日本とは？

では、日本はどう考えているでしょうか。

【日本世論】

項目	2014年	2013年
政治経済関係など	25.7%	23.4%
歴史問題など	2.7%	3.9%
日本経済の発展	52.2%	58.9%
日本社会の発展	36.4%	38.7%
日本文化の発展	52.8%	58.1%
日本技術の発展	31.2%	29.4%
日本教育の発展	28.7%	29.0%
日本環境の発展	50.4%	55.1%
日本医療の発展	47.9%	41.1%
中国の発展	18.6%	14.5%
中国の発展	10.2%	10.1%
中国の発展	0.0%	0.8%
中国の発展	0.1%	0.1%

中国人のマナー

調査元: アレバ「たかじん」のそこまで行って委員会 (2010年10月17日放送分より)

観光客の評判

- エクスぺディア・ベストツーリスト 2008

- 1位 日本人
- 2位 ドイツ人/イギリス人
- 4位 カナダ人
- 5位 スイス人
(中略)
- 30位 インド人
- 31位 中国人



オンライン旅行会社のエクスぺディア・アジアパシフィックによる観光客の国別の評判に関するアンケート。調査対象はアジア・ヨーロッパ、南北アメリカ、アジア・パシフィックに居住する約10歳以上の旅行者。アンケートに回答した約4万軒のホタルマナー・ジャーナルで質問に回答する形で行われる。調査では、「行動の良さ」「礼儀正しさ」とは別のカテゴリーについて、それぞれ「最良」(10ポイント)、「最悪」(0ポイント)の両方を評価し、すべての評価をポイントに換算して順位。

中国人の旅行マナー



- 2013年に中国初の「旅行法」が施行される
罰則等はなく、努力目標的な意味合い

- 同年、中国国家旅行局は「文明旅游出行指南」という旅行中のマナーに関するガイドブックを発表
痰を吐かない、列に割り込まない、ホテル等の備品を破壊しない・持ち帰らない、などと書かれている

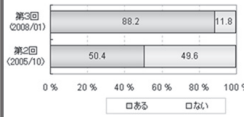
中国製はやっぱり心配…？

- 毒入り冷凍餃子
- マクドナルドチキンナゲット
- Made in China は品質が悪い、不安

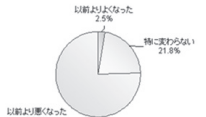


中国製品への不安

- 中国製品に対する不安・抵抗感
[中国製品を利用することに、不安や抵抗感はあるですか？]



- 中国製品についてのイメージ変化
[あなたの中国製品についてのイメージは、以前と比べ変わりましたか？]



日本の中国人イメージ:PART 1

- なぜか、穴によく落ちる



日本の中国人イメージ:PART 2

- 「おめえに食わせるタメンはねえ！」
- 香港俳優



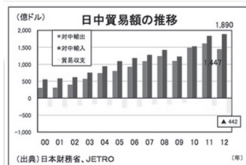
- 中国外務省の報道官



日本から眺めた中国とは？

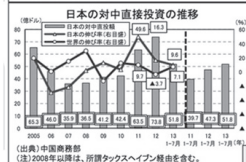


経済関係



貿易相手としても
投資国としても
企業進出先としても

No.1!!



※外務省HP「中国の経済情勢と日中経済関係」

いまとこれからの日中関係

- お互いがお互いに大国意識を持っているため、いつまでもきちんと向き合えない
- お互いに過去に未練がある
- お互いが(時代は違えど)自分より「格下」に越されたことにイラ立っている
- 日中相互依存関係を再認識
- 挑発しない・させない
- メディアはあおらない(日本側)
- 話し合いの場が必要



天児慧『日中対立——習近平の中国を破る』筑摩書房、2013年、215-217ページ。

おわりに

- 子曰、不患人之不己知、患己不知人也。



—子曰く、『人の己れを知らざるを患えず、人を知らざるを患う。』

—先生(孔子)がこうおっしゃった。『他人が自分を認めないことは心配いらない、自分が他人を認めないことのほうを心配しない。』

- 子曰、不患無位、患所以立、不患莫己知、求為可知也。

—子曰く、位なきことを患えず、立つ所以を患う。己を知ること莫きを患えず、知らるべきことを為すを求む。

—先生(孔子)がこうおっしゃった。『地位がないことを心配せず、その地位に立つべき理由(実力や人徳)について気にしない。自分を認める人がいないのを気にかけず、人に認められるような行動ができるように努力しない。』

参考文献・資料・HP:PART1

- 天児慧『日中対立——習近平の中国を破る』筑摩書房、2013年。
- 国分良成、藤谷芳秀、高原明生、川島真『日中関係史』有斐閣、2013年。
- 日中韓3国共同歴史編纂委員会『新しい東アジアの近現代史 上』日本評論社、2012年。
- 毛里和子『日中関係 戦後から新時代へ』岩波書店、2006年。
- 吉川幸次郎『論語 上』朝日新聞社、1974年。
- 内閣府 外交に関する世論調査——中国に対する親近感 図10: <http://www8.cao.go.jp/survey/h25/h25-gaiko/sh/z10.html>(2014年10月1日参照)
- 文部科学省『平成17年度版文部科学白書・第2部第10章第2節1』http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpba200501/002/010/0201.html(2014年10月4日参照)
- 中国日報網 民調:日中両国国民対立国家印象出現大幅悪化 http://www.chinadaily.com.cn/hqzx/2013-06/07/content_16877497.html(2014年10月19日参照)
- 言論NPO「第10回日中共同世論調査」結果 <http://www.genron-ngo.net/world/genre/tokyobeijing/10-7.html>(2014年10月19日参照)
- NEVERまとめ「ヤバイくらいマナーの悪い中国人」 <http://matome.naver.jp/odai/13136367894668937901>(2014年10月19日参照)
- 総合心理相談 ES DISCOVERY 孔子の『論語』と中国古典の解説 <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~mind/knowledge/classic/confucius.html>(2014年10月31日参照)

参考文献・資料・HP:PART2

- アンバーサリットラベル「ハネムーン人気旅行先ランキングTOP10」 <http://www.amberry-t.com/jp/ranking/>(2014年10月26日参照)
- ゼンマイ「ハネムーン人気エリアの基本情報」 <http://zenmai.net/manual/honey-kiss/chapter2.html>(2014年10月26日参照)
- マイナビ「ズバリ! 新婚旅行の行き先ランキング」 <http://news.mynavi.jp/news/2013/02/15/021/>(2014年10月26日参照)
- H1S「おとぎのハネムーン」 <http://www.his-j.com/tyo/tour/special/honey.html>(2014年10月26日参照)
- JTBハネムーン「人気ツアーランキング」 <http://www.jtb.co.jp/honeymoon/ranking/index.asp?Dept=TYO>(2014年10月26日参照)
- 外務省「中国の経済情勢と日中経済関係」 http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/page3_000307.html(2014年10月30日参照)
- マイボイスコム株式会社「中国製品のイメージ」(第3回) <http://www.myvoice.co.jp/biz/surveys/11403/>(2014年11月10日参照)
- 恋する中国 観光客の国別の評判に関するアンケート <http://www.togekyo.net/modules/chinese/55.html>(2014年11月10日参照)
- 銀色の艦隊 さんさんより「中国の大連市・マナーの悪さ、お金利根に目くらんだ? 中国人観光客大暴走は危険! 大連の不法占拠市など」は中国人お断りだってどこがあってもいい! 日本人はメイド・イン・ジャパンへ帰れよ <http://omoitukinikikou.blog79.fc2.com/blog-entry-688.html>(2014年11月13日参照)

ご清聴ありがとうございました！

承蒙垂听,非常感谢！

